



NPO 法人キャンサーリボンズ×図書館×アフラック 「がんと暮らす情報」プロジェクト

図書館での、がんと暮らす情報コーナーづくりが進んでいます

近年、生活者の関心が高い健康・医療情報を積極的に提供する図書館が増えています。また、健康・医療は専門性が高い分野であるため、外部の専門機関等と連携や協力するという点でも新しい取り組みです。かねてより図書館と連携して地域でがん情報を発信してきたキャンサーリボンズ(理事長: 福田護/ 聖マリアンナ医科大学プレスト&イメージングセンター院長)*1 と、がんに関する様々な社会貢献活動に取り組むアフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)*2、そして(図書館海援隊*3 に参加している健康医療情報の提供に積極的な)図書館による、図書館での信頼できる「がんと暮らす」情報コーナーづくりが始まりました。

■「がんと暮らす情報コーナー」を公立図書館4館で試験導入

具体的には、キャンサーリボンズが作成した冊子と企業の冊子を、公共図書館および病院図書館で広く利用者に手にしていただけるよう「がんと暮らす情報コーナー」としてまとめ、ラックに設置。2011年12月より3か月を目途に図書館4館(川崎市立麻生図書館・三島市立図書館・静岡県立こども病院図書室・鳥取県立図書館)にご協力いただき試験的な導入を始め、利用者にも好評なことから今後も設置継続が決まっています。

鳥取県立図書館(医療・健康情報コーナー)
* 左手前が「がんと暮らす情報コーナー」ラック



なお、ラックに設置した冊子は、がん検診や予防に関するもの、病気への理解を深めるもの、術後のこと、リワーク(がん患者さんの就労継続)・食事・運動・美容など毎日の生活に関わるものを中心にキャンサーリボンズがコーディネートし、患者さんだけでなく多くの方に有用と思われるものを選んで、各企業(アストラゼネカ(株)、アフラック、ノバルティスファーマ(株)、バイエル薬品(株)、ヤンセンファーマ(株)、ロート製薬(株))からご寄付という形で提供していただきました。



三島市立図書館
(医学書棚そばの閲覧コーナー)
* 右手前が
「がんと暮らす情報コーナー」ラック



静岡県立こども病院図書室
* 右手前が「がんと暮らす情報コーナー」ラック



川崎市立麻生図書館
(健康情報コーナー)
* 書架上、中央の卓上型ラックが
「がんと暮らす情報コーナー」ラック

■「がん情報パネル巡回展」も開催

また、「がんと暮らす情報コーナー」づくりの一環として、当プロジェクトで作成したパネルを展示する「がん情報パネル巡回展」を開催しています。鳥取県立図書館では、それに加え、アフラックから提供された「がんを知る展」のキット(がん基本情報ロールパネル、パソコンによる個別がん・最新医療情報、乳がん触診モデルなど)

を同時に展示する「がんを知る・がんと付き合う」を開催中(2月21日～3月22日)です。川崎市立麻生図書館でも、パネルを2月27日～3月28日まで展示し、市民に情報提供を行っています。

当プロジェクトでは、今後も地域の公共図書館にお声かけし、年内に10か所の図書館での「がんと暮らす情報コーナー」づくりを目指して活動します。

コーナーづくりの取り組みを、貴媒体にてぜひご紹介いただきますようお願いいたします。

【この件に関するお問い合わせ先】

NPO法人キャンサーリボンズ「図書館連携プロジェクト」担当：田村・広瀬・大和田

メール：ribbonz@ellesnet.co.jp 電話：03-3546-6101

・鳥取県立図書館 TEL(0857)26-8155(代) 担当:情報相談課/大原

・川崎市立麻生図書館 TEL(044)951-1305(代) 担当:館長/池原

「がんと暮らす情報」プロジェクトとは

◆*1 NPO法人キャンサーリボンズ(<http://www.ribbonz.jp/>):

がん患者さんの「治療と生活」をつなぎ、がん患者さんの「少しでも心地よい自分らしい生活の実現」を目指して2008年に設立。「がんと暮らす情報」のほかにも、美・食・働くなど様々なテーマ別のプロジェクトや、がんのケア情報を提供し患者さんやご家族が集うことができる「リボンズハウス」の展開(現在全国に14カ所)、「6月21日はがん支えあいの日」を中心としたがん支えあい啓発活動に取り組んでいる。

◆*3 図書館海援隊:

文科省の呼びかけで2010年1月、有志の図書館が「図書館海援隊」を結成し、ハローワーク等関係部局と連携した貧困・困窮者支援をはじめ具体的な地域の課題解決に資する取組をより本格的に開始。その後、この取組に対し、他の図書館からも参加希望が寄せられ、それに伴って、医療・健康、福祉、法務等に関する役立つ支援・情報の提供やJリーグと連携した取組など、分野も拡大された。

参加館数は、2010年12月20日現在で47館。

◆*2 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社):

1974年に日本初の「がん保険」を発売し、日本での営業を開始した米系の生命保険会社。主力商品は、がん保険や医療保険などの「生きるための保険」で、保有契約件数は日本でトップ(個人保険分野/2011年版「インシュアランス生命保険統計号」より)。

それゆえ、「がん・医療」をメインテーマとした社会貢献活動に積極的に取り組むと同時に、がんに関する啓発活動にも注力しており、国や地方自治体と連携のうえ、がんセミナーや展示会、コンサートなど、多数開催している。